

2026年 第41回

# 日本管打楽器コンクール

## 特別大賞演奏会及び表彰式

各部門最高位入賞者による栄誉ある演奏会

2026年 **8月31日**(月)開演 17:00  
(開場 16:30)

かつしかシンフォニーヒルズ

モーツァルトホール

東京都葛飾区立石6-33-1

入場無料

プログラム

### 特別大賞演奏会

(17:00～)

### 表彰式

(20:00～)

1. オーボエ部門

Wolfgang Amadeus Mozart  
Konzert C-dur KV 314

2. クラリネット部門

Wolfgang Amadeus Mozart  
Konzert in A-dur für Klarinette und Orchester KV 622

3. マリンバ部門

伊福部 昭  
ラウダ・コンチェルタータ

4. トランペット部門

Henri Tomasi  
Concerto pour Trompette et Orchestre

1. 運営委員長挨拶

2. 運営役員・審査委員紹介

3. 入賞者表彰・賞状及び副賞授与  
文部科学大臣賞及び東京都知事賞授与

4. 聴衆賞発表・授与

聴衆の投票により特に感銘を受けた奏者に贈ります

5. 特別大賞発表・授与

内閣総理大臣賞授与

出演 2026年第41回日本管打楽器コンクール

各部門最高位入賞者

指揮・共演 山下一史／藝大フィルハーモニア管弦楽団

※演奏中(楽章間)での客席への出入りはご遠慮下さい。

※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

主催・お問い合わせ

公益財団法人日本音楽教育文化振興会 日本管打楽器コンクール事務局  
113-0033 東京都文京区本郷4-15-9 TEL: 03-3814-2977 FAX: 03-3814-3302  
<https://jwpc.jmecps.or.jp/> E-mail: [jmecps@jmecps.or.jp](mailto:jmecps@jmecps.or.jp)



日本管打楽器コンクールは、管打楽器分野から、国際的視野に立ち有能なソリストを発掘し、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的としております。1984年から開催され、12の管打楽器部門(フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・トランペット・ホルン・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ・パーカッション・マリimba)を毎年4部門ずつ開催しており、国際的にも希有な存在として世界各国から注目され、そのめざましい活動は驚嘆されております。これまでの参加者は約23,600名、入賞者は748名に達し、その実績は海外及び日本のプロオーケストラ団員を約400名輩出、日本のプロ吹奏楽団員を約50名輩出、日本の音楽大学教育界では、教授及び講師を約230名輩出、その多くは管打楽器分野の育成にも及んでおります。実績・成果を挙げているコンクールとしての評価を賜り、各開催部門第1位入賞者には「文部科学大臣賞」、「東京都知事賞」をそれぞれ授与しており、また特別大賞演奏会では、最も素晴らしい演奏者として選ばれた特別大賞授賞者に、「内閣総理大臣賞」を授与しております。



### 2026年第41回日本管打楽器コンクール 運営役員

運営委員長  
尾高 忠明 (NHK交響楽団正指揮者)  
運営副委員長・運営実行統括  
石渡 悠史 (一般社団法人日本サクソフォン協会顧問)  
運営副委員長  
望月 正樹 (公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事)  
運営参与  
吉井 實行 (公益社団法人日本演奏連盟常任理事)  
運営実行委員長  
井上 順平 (日本トロンボーン協会顧問)  
運営実行副委員長  
高久 進 (一般社団法人日本フルート協会常任理事)

### 特別大賞演奏会 審査委員

辻 功 (オーボエ部門審査委員長)  
武田 忠善 (クラリネット部門審査委員長)  
津堅 直弘 (トランペット部門審査委員長)  
菅原 淳 (マリimba部門審査委員長)  
大塚 直哉 (チェンバロ奏者)  
北爪 道夫 (作曲家)  
下野 竜也 (指揮者)  
須川 展也 (サクソフォン奏者)  
東条 碩夫 (音楽評論家)

## 指揮 山下 一史

桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、ニコライ・マルコ国際指揮者コンクール優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。その後ヘルシンボリ響首席客演指揮者を務めた。日本国内ではN響を指揮してデビュー、以後主要オーケストラに定期的に出演。これまでにアンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者ならびに名誉指揮者、仙台フィル指揮者ならびに正指揮者を歴任。オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。千葉交響楽団音楽監督、愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者、東京藝術大学音楽学部指揮科教授。



©ai ueda

## 共演 藝大フィルハーモニア管弦楽団

東京藝術大学に所属するプロ・オーケストラで、定期演奏会に加え「合唱定期」「オペラ定期」「モーニング・コンサート」などを行うほか、指揮科学生との演奏会・試験・演習、東京藝大ジュニア・アカデミーの生徒との共演など、学生の演奏経験の拡充にも資している。学外でも、近年では新国立劇場、彩の国さいたま芸術劇場、長崎県、新潟県、秋田県、茨城県などでの公演で好評を博した。海外では、2017年6月のチリでの4公演(日本・チリ修好120周年記念)に続き、2023年12月、アルゼンチンのコロロン劇場(Teatro Colón)での公演で聴衆を魅了した。2024年12月、ヴァイオリンの巨匠ジェラルド・プーレ氏と共にCD録音を実施した。(公社)日本オーケストラ連盟準会員。

